



かわにし市議会だより

市花りんどう

平成24年(2012年)
11月1日
No.188

発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318

ホームページアドレス <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

平成24年度一般会計補正予算(第2回)など審議

(仮称)こころの健康基本法の早期制定などを求め意見書提出



平成24年第3回定例会市議会は、去る8月30日に招集され、9月26日に会期を終えました。

この定例会市議会では、中央図書館における図書整備のほか、民間保育所の定員増加に向けた改修工事への補助や、市立小学校の給食室修繕に対する経費の追加などを含む、一般会計補正予算案をはじめ、公営企業（水道・下水道・病院）の会計決算など、合計26の案件を審議しました。

また、本会議最終日には、「(仮称)こころの健康基本法の早期制定を求める意見書」など、2件の意見書を可決し、直ちに関係大臣等へ送付しました。

第3回市議会(定例会)日程

第1日(8月30日)
○会期の決定
○教育委員会委員の選任〔1議案〕⇒表決
○人権擁護委員候補者の推薦〔4議案〕⇒表決
○損害賠償請求事件の和解〔1議案〕⇒表決
○平成23年度水道事業会計利益の処分及び決算認定など〔9議案〕⇒市長提案説明
〈議案熟読〉
第2日(9月6日)
○平成23年度水道事業会計利益の処分及び決算認定など〔9議案〕⇒質疑・委員会付託
○請願〔1件〕⇒委員会付託
○一般質問
第3日(9月7日)
○一般質問
第4日(9月10日)
○一般質問
〈常任委員会・決算特別委員会審査〉
第5日(9月21日)
○平成23年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒市長提案説明
第6日(9月26日)
○平成23年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒質疑・付託
〈決算特別委員会審査〉・・・継続審査
○平成23年度水道事業会計利益の処分及び決算認定など〔9議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決
○意見書案〔2件〕⇒表決
○請願〔2件〕⇒表決

民間保育所の改修工事費補助金など追加 ～待機児童の解消や新たな高齢者支援に期待～

この9月定例会では、「平成24年度一般会計補正予算(第2回)」について審議しました。

今回の補正は、中央図書館が、公益財団法人兵庫県市町村振興協会からの交付金を受け、児童用等の図書を整備するほか、県の安心こども基金を活用し、民間保育所の定員増加に向けた改修工事費を補助するための経費の追加に加え、ことし6月に発生した市立東谷小学校給食室の火災に伴う小学校施設の修繕料

9月定例会

の追加を行おうとするものです。

この補正案件を審査した常任委員会では、各事業に対する市の取り組み方針などについて、活発な質疑が交わされました。

また、この定例会では、「平成24年度介護保険事業特別会計補正予算(第1回)」も審議しました。

この補正は、認知症高齢者に対して、家族や医療機関、介護事業者などが情報を共有し、効果的な支援を連携して行うため、新たに導入する「つながりノ

みんなの市議会

No.72

このコーナーでは、市議会の機能や役割などを紹介するとともに、1年間にわたる市議会の活動状況などをお知らせしています。

今回は、議会の主な働きについて、「権限」といった面から見ていきたいと思います。

市議会の権限

議会の働きとしては、条例案や予算案を審議し決定する権限、いわゆる「議決権」については、一般的に知られていますが、住民の代表として十分な活動ができるよう、他にも多くの権限を持っています。

それらの権限を内容から見ると、次の五つに分類できるとされています。

①立法に関する権限

議会は、住民の代表として、その意思を市政に反映していく使命を担っており、このような意味からも、市民生活と関わりの深い条例を提案するなどの権限は、特に重要です。

②財政に関する権限

議会には、地方公共団体が定める予算や決算などの審査を通じ、住民の意思が十分に市政に反映され、適正に運営されているかをチェックするとともに、予算についてこれを修正して議決する権限が与えられています。

③執行機関に対する監視的権限

議会は、長と対等の立場で、日々の行政運営に当たる執行機関が真に住民の信託に忠実であるか、あるいは、市政が適正に運営されているかについて、住民に代わって監視することとされています。

④意見書提出権

議会は、地方公共団体の公益に関する事件につき、住民の代表機関として、国会また

は、関係行政庁に意見書を提出することができます。

⑤自律権

議会が本来与えられている権限を他の機関から何ら影響を受けることなく行使していくために、議会運営や組織に関する規定を独自に定めていく権限が認められています。

以上、議会の権限を内容面から見てきたわけですが、市議会は、今後とも、皆さんのための市政を実現していくために、これらの権限を適時・適切に行使していきます。

一般質問

要旨

消防 声の代わりの緊急通報 “Web119” 利用状況など聞く

議員 市消防本部では、ことしの8月から、聴覚障がい者など、音声による119番通報が困難な方を対象としたWeb119が導入されている。

これは、緊急時に携帯電話から専用サイトにアクセスし、音声を使わずに119番通報ができるものであるが、現在の利用状況や周知活動のほか、先進自治体に見られる課題への対応について伺いたい。

保健 食育で生活習慣病の予防を 「食育啓発きんたくん」活躍に期待



議員 市では、23年度から食育推進計画を推進し、本年度も食育フォーラムの開催や「食育啓発きんたくん」といったシンボルも活用するなど、積極的に事業を実施している。

今後は、生活習慣病を予防する医療の前段として、食育の啓発が重要であると考えてるが、より総合的に事

生活安全 脱法ハーブから子どもを守れ！ 市の対応状況など示せ

議員 脱法ハーブは、意識障害などの麻薬に似た症状を引き起こすもので、その乱用がまん延していると、テレビなどで報道されている。

このような脱法ドラッグの販売店が市内にもあると明らかになったため、実態把握のほか、子どもへの影響を考えた対応状況などを伺いたい。

健康福祉部長 脱法ハーブに関連する許認可の権限は、国と県にあり、

消防長 Web119は、事前登録によって利用が可能となるもので、現在2人の申し込みがあったが、この周知には、ホームページなどを活用するほか、対象者への案内方法を関係部局と調整しているところである。

また、導入自治体の課題として、通報者の誤操作があったことなどを聞いており、確実な通報がなされるよう丁寧な説明を行っている。

福祉 精神障がい者に支援を 就労相談などの具体策問う

業を展開する考えはないか伺いたい。

健康福祉部長 この計画では、一人一人が健全な食生活を自ら実践できるように、特定保健指導や人間ドックの結果説明会などで、管理栄養士等が食生活改善の助言を行っている。

また、生活習慣病の予防については、現在策定中の次期市保健医療計画に食の観点も反映する考えである。

福祉 精神障がい者に支援を 就労相談などの具体策問う

議員 精神障がい者については、外見では障がいが見えないことや、思春期に発病することが多いため、早期治療のほか、本人や家族を支援する取り組みが重要であると考え。

そこで、精神障がい者の就労支援や、精神障がいに対する教職員への研修を拡充する考えを伺いたい。

健康福祉部長 精神障がい者への就

一般質問は、本会議第2日から第4日までの3日間にわたり行われ、15名の議員が、46項目について質問しました。

なお、当市議会では、質問方法を一括質問一括答弁方式および一問一答方式の選択制としております。

ここでは、そのうち15項目について、質問と答弁の要旨を掲載しています。そのほかの質問項目は、下段の「一般質問項目(掲載分を除く)」をご参照ください。詳しい内容は、11月下旬に発行予定の会議録でご覧いただけます。会議録は、市議会ホームページにも掲載しますので、ご利用ください。

まちづくり

大阪国際空港周辺都市対策協議会 24年度運動方針の重点項目問う

議員 大阪国際空港周辺都市対策協議会(11市協)では、国が策定した「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針」に基づき、24年度の運動方針が決定されたが、この方針の重点項目について伺いたい。

都市整備部長 運動方針では、国土交通省に対し、安全・安心の確保を最優先に、空港周辺対策について、新関西国際空港株式会社への指導・監督のほか、安全・環境対策に係る国土交通省、新会社、11市協等を構成団体と

する協議の場を速やかに設置することなどが求められている。

また、新会社には、万全な安全・環境対策や、利用者ニーズに沿った空港の適切で有効な活用のほか、まちづくりへの寄与といった地域貢献などが求められたところである。



子ども

ひきこもり ニート 困難を抱える若者 本市の実態と支援内容聞く

議員 国は、平成22年4月に「子ども・若者育成支援推進法」を施行し、ひきこもり・ニートといった困難を

抱える若者を支援するためのネットワークの整備を図ろうとしている。

そこで、本市におけるひきこもりやニートの実態のほか、これらの若者に対する支援内容を伺いたい。

こども部長 本市では、昨年度に19歳から29歳の若者を対象に、生活実態などに関するアンケート調査を実施しており、この結果、約250人がひきこもり状態で、約650人がニートではないかと推計している。

これらの若者への支援については、学識経験者等による専門委員会で検討し、(仮称)子ども・若者育成支援計画を本年度に策定することとしており、来年度以降は、この計画に沿った支援策を展開する考えである。

財政

ネーミングライツ(施設命名権) 財源確保のため積極的に導入せよ

議員 市長は、24年度の施政方針で、行財政改革の一環として、道路施設へのネーミングライツ(命名権)導入の検討を進めると述べている。

そこで、この導入に向けた検討状況と課題について伺いたい。

総合政策部長 ネーミングライツの導入は、道路の維持管理経費の確保だけでなく、市政への協力や、地域

貢献といった協働により、地域の活性化が図れるものと期待しており、今年度は、対象施設の選定やネーミングの方法に加え、広告の手法を検討していきたいと考えている。

また、この課題は、一般公募したネーミングが地域に合致したものであるかといった点などがあると認識している。

(仮称)こころの健康基本法の早期制定を求める意見書<要旨>

わが国では、うつ病や認知症などの精神疾患患者が急増傾向にあり、自殺者の増加のほか、ひきこもりや虐待などの社会問題に、こころの健康の問題が大きく影響していると指摘されている。

精神医療については、社会資源も不十分であるほか、地域における精神保健体制が確立されておらず、患者や家族の負担は大きくなっている。

よって当市議会は、国が国民のこころの健康問題に取り組むことを明確にし、精神疾患に係る総合的かつ、長期的な政策を保障するため、(仮称)こころの健康基本法を早期に制定するよう要望する。

1型糖尿病患者の内部障害認定を求める意見書<要旨>

1型糖尿病は、根治療法がなく、患者は、一生のインスリン補充による治療を余儀なくされている。

現在、20歳以上の患者に対する医療費の公的支援策がないほか、平成24年度の診療報酬改定により、患者負担が増加している。

このため、患者には、病気の苦痛に加え、治療の質の低下による合併症などの危険性の高まりが懸念されており、経済的支援が、合併症患者の減少や医療費抑制に効果があると期待するところである。よって当市議会は、国が、1型糖尿病を身体障害者福祉法における内部障害と位置づけるよう要望する。

本会議・委員会開催状況

7月	
25日	○議会運営委員会
8月	
1日	○議会運営委員会
16日	○議会運営委員会
23日	○議会運営委員会
	○議員協議会(教育委員会委員の選任について)
24日	○新名神高速道路周辺対策特別委員会(新名神高速道路建設について)
	○建設文教公企常任委員協議会(川西都市開発株式会社の状況について)
30日	○第3回市議会定例会(招集日)
	○議会運営委員会
9月	
6日	○第3回市議会定例会(第2日)
7日	○第3回市議会定例会(第3日)
10日	○第3回市議会定例会(第4日)
11日	○総務生活常任委員会
12日	○厚生常任委員会
	○厚生常任委員協議会(平成24年第2回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会(定例会)議案の報告についてなど)
13日	○建設文教公企常任委員会

	○建設文教公企常任委員協議会(市立中学校における暴力行為について)
14日	○公営企業会計決算審査特別委員会
19日	○議会運営委員会
	○議員協議会(第5次川西市総合計画基本構想(案)についてなど)
21日	○第3回市議会定例会(第5日)
	○建設文教公企常任委員協議会(川西市経営評価委員会について)
26日	○第3回市議会定例会(最終日)
	○一般会計決算審査特別委員会
	○特別会計決算審査特別委員会
	○まちづくり調査特別委員会(中央北地区整備事業の進捗状況について)
	○建設文教公企常任委員協議会(東谷小学校調理室の改修について)
10月	
2日	○一般会計決算審査特別委員会
3日	○一般会計決算審査特別委員会
4日	○一般会計決算審査特別委員会
5日	○特別会計決算審査特別委員会
18日	○議会運営委員会
22日	○広報委員会

受理した陳情

- 地球社会建設決議に関する陳情書
- 要望書(育成会活動の拠点となる場所の提供等)
- 陳情書(貴市図書館への視聴覚資料の参入を認めて欲しい)
- 陳情書(「非核三原則の法制化」について)
- 地球社会建設決議に関する陳情書
- 川西市における震災瓦礫処理についての陳情書
- 陳情書(日本軍「慰安婦」問題の早期解決を求める意見書(案)可決のための陳情)
- 精神障がい者の福祉施策充実に関する要望書

教育

市立幼稚園を土・日曜に開放し地域活動に提供する考えないか

議員 地域のサークルやグループが、ピアノなどを使った音楽発表を行う場所としては、みつなかホールや文化会館では大きく、また、小・中学校の体育館は、部活動等で使用されるなど、利用が困難となっている。

そこで、土・日曜日に市立幼稚園を開放し、このような市民活動の場として提供する考えはないか。

教育

“通学路”夏休み中の総点検 今後の安全対策示せ

議員 本市では、各地で起こった通学路での交通事故を受け、夏休み中に通学路の安全点検が実施されているが、危険箇所の広報や安全対策など、今後の取り組みを伺いたい。

教育振興部長 安全点検の結果は、ホームページで公表し、児童・生徒や保護者などと危険箇所等の共通認識を図り、安全確保に努めるほか、

教育

部活動の新設や外部コーチ増員 中学生のニーズに応える考えは

議員 ロンドンオリンピックでは、女子サッカーやレスリングなどの種目で日本人選手が活躍したが、中学生のニーズに対応するため、このような部活動を新設する考えはないか。

また、1校につき3人までとしている中学校の部活動の外部コーチを増員する考えについて伺いたい。

教育振興部長 部活動の成立要件は、

企画政策

旧加茂小学校と旧ふたば幼稚園 公有財産としての活用策示せ

議員 旧加茂小学校校舎については、教育施設に活用するとされていたにもかかわらず、耐震補強も行わないままに、現在に至っている。

また、旧ふたば幼稚園の園舎については、子育てセンターといった施設などに活用すべきと考えるが、こ



旧ふたば幼稚園

教育振興部長 幼稚園を含む市立学校の施設利用は、規則に基づき、公益性が伴うコミュニティ活動などに対し、校園長が許可しているが、幼稚園には、当直者を配置していないため、土・日曜日の開放には施設の開閉などの課題がある。

しかし、地域住民の要望に応えられるよう、前向きに検討したい。

報告書等も作成する考えである。

また、16小学校区で83力所を点検した結果、対策案を策定した46力所と、道路幅が狭いなど、対策を検討していく37力所に分類している。

今後、安全対策の財源を国や県に要望するほか、通学路安全対策推進会議で改善策の進行状況を確認するなど、継続的な安全確保に努めたい。

競技や練習が可能となる生徒数を確保することが原則であり、中学校体育連盟が大会を開催する競技種目でなければならないため、部活動数を増やすことは厳しいと考える。

また、外部コーチは、競技の専門的知識と教育活動への理解などが求められるため、適正な人材確保の点からも増員は困難である。

れらの施設の活用方針を伺いたい。

教育振興部長 旧加茂小学校校舎は、防災用品などの備品の集中保管場所としており、補助金返還や安全対策などの課題も多いため、その活用には、しばらくの時間をいただきたい。

総合政策部長 旧ふたば幼稚園の園舎の活用については、当時の保護者や地域住民、地元自治会から、さまざまな要望をいただいている。

こうした要望を踏まえ、公有財産の有効活用という観点から、活用方法の検討を進めているところである。

教育

いじめ問題への対応 アンケートで実態を把握する考えは

議員 いじめ問題が報道されるなどにより、本市の対応が懸念されるが、取り組み状況を伺いたい。

また、近隣市では、いじめの実態を把握するため、児童・生徒にアンケートが実施されているが、本市の実態把握について伺いたい。

教育振興部長 いじめの防止については、児童・生徒が充実した学校生活を送れるように取り組むほか、早

教育

「お父さんお母さん検診受けてね」がん教育で受診率向上を目指せ

議員 国が新たに策定した「がん対策推進基本計画」におけるがんの教育・普及啓発の項目では、がんそのものや、がん患者に対する理解を深めるための子どもへの教育が、不十分であることが取り上げられている。

がんの教育は、がん検診受診率の向上といった効果が期待できるため、本市の取り組み状況などを伺いたい。

教育振興部長 小・中学校では、保

市民生活

働くなでしこ大作戦 “女性の活躍促進”市の対応聞く

議員 国は、ことし6月に「『女性の活躍促進による経済活性化』行動計画 ～働く『なでしこ』大作戦～」を策定している。

そこで、企業の男女労働者間における事実上の格差解消を目指すポジティブ・アクション（積極的改善措置）などが進められることから、本市の取り組み方針について伺いたい。

市民生活部長 市では、労働行政等の情報提供を行う労政ニュースでポジティブ・アクションの特集記事を掲載するとともに、企業への啓発に組みみたいと考えている。

また、現在、市の男女共同参画プランを見直しており、新プランの取

病院

認知症入院患者の見守りを 市立川西病院の体制問う

議員 市立川西病院の入院患者は、約6割が70歳以上であり、その約2割が認知症であると推計されている。

患者の生命と安全を守りながら、看護負担を軽減するためには、認知症に対する適切な見守り体制の構築が必要と考えるが、具体的な取り組みと、今後の展望について伺いたい。

経営企画部長 市立川西病院では、日常生活の自立度などを把握し、認

知症の方でも、安心した医療が受けられるよう配慮するとともに、看護師の負担軽減を図る観点から、看護補助者を配置するほか、地域医療連携室が中心となり、患者の在宅復帰に向けた取り組みも行っている。

今後は、核家族化により、患者に付き添えないなどの新たな課題に対し、さまざまな機関等との連携を図る必要があると認識している。

期の見や対応を図っており、各校には、この取り組みを徹底している。相談窓口は、教育情報センターや子どもの人権オンブズパーソンなど、複数に設置しており、再度、広報と啓発をしていきたいと考える。

また、市では、統一的なアンケートによらず、学校ごとの事情や発達段階を考慮し、潜在的ないじめも含め、実態把握を行ったところである。

健などの授業で、生活習慣病の予防について学習することとなっているが、現状では、がんに特化した教育はなされていない。

がんへの認識不足を解消することは重要であり、学校教育がこの役割を担うことは検討課題ではあるが、授業時間を確保する必要などがあるため、現行の保健の授業を中心とした学習を行うしかないと考えている。



り組みには、「働く『なでしこ』大作戦」と同趣旨の内容も多く含まれているため、今後の取り組みについては具体的に検討していきたい。

一般質問項目（掲載分を除く）

○持続可能なまちづくりに必要不可欠な歳入を確保する取り組みについて（今年度に新たな発想で取り組むこととされた財源確保策の進捗状況、平成20～23年度に取り組まれた財源確保策の内訳、自動販売機による使用料収入の状況、未利用公有地の貸付及び売却の現状と課題、ふるさとづくり寄附金の現状と活性化させるための方策）
○本市の指定管理者制度について（地域団体等を指定管理者とする効果と問題点の検証、指定管理者の人事、雇用契約等）
○川西市開発株式会社経営状況と市の取り組みについて（節電対策、駐車場運営、利用者サービスの向上、定休日、4階の有効活用、店舗の案内）
○障がい者等施策の拡充について（すべての障がい者に対する仕事おこしを拡充する取り組み）
○災害時における高齢者福祉施設の相互支援体制の整備について
○独居高齢者の福祉対策の一環としての見守りシステムを導入する考えについて
○救急医療ヘルプキットの配布事業の状況と今後

の展開について（配布実績対象と結果、今後の配布先拡充、緊急通報システムとの併用推進計画、ヘルプキット配布先と災害時要援護者の対応）
○高齢者の安心・安全な生活支援について（高齢者の中学校区別実態、高齢者の安心・安全対策、今後のビジョン）
○病児・病後児保育に取り組む考えについて（次世代育成支援対策行動計画の進捗状況、市立栄保育所跡地で実施をする考え）
○川西市食育推進計画の進捗状況と実績について（地産地消の推進実績と今後の計画や展望）
○各種がん検診の取り組みについて（受診状況、課題とその対策）
○熱中症対策の強化について（市内の熱中症による救急搬送の状況、冷房機器購入設置費及び電気料金を助成する考え、熱中症予防に関する市民への情報提供や注意喚起を強化する考え）
○市立川西病院の現状について（市立川西病院の役割の考え方と認識、市立川西病院の課題の考え方とその解決への取り組み、市民への情報提供と意見収集のあり方）
○太陽光発電の普及について（24年度の太陽

光発電システム設置補助金申請状況、太陽光発電の普及に向けたこれまでの取り組みと今後の具体策、太陽光発電システム設置件数及びエネルギー自給率の目標と期限を決めること、公共施設に太陽光発電システムを設置することを具体的に検討すること）
○旧北部処理センターの解体に対する考えについて（施設管理の実態、解体計画の推進と具体）
○ごみポイ捨て条例制定への対応について（ビン回収におけるコンテナ設置の見直し、プラスチック製容器包装の収集方法の見直し、ペットボトルのキャップや廃油の収集に取り組む考え）
○「ごみポイ捨て条例制定への対応について（路上喫煙・ポイ捨ての防止に関する要綱」の導入成果と総括、ごみポイ捨て条例制定に向けた考え）
○新しい市内イベントを創設する考えについて（明治から昭和期の市内の映像や民俗学的資料を調査する考え、市民共通の歴史認識・回顧・新たな気づきを持つ機会とするイベントの重要性と実施）
○私道舗装助成金の予算を引き上げる考えについて
○開発に絡む具体的問題と市民への説明責任

について（錦松台新池開発に伴う公道との取り付け、新池周辺住民への周知、この間新池周辺開発で持ち上がった問題点を疑問に思っている市民に納得のいく説明をすること、指定確認検査機関と市の確認作業との連携、指導に従わず荷重がかけられ擁壁が破損した責任、建築確認時に道路が設置されていたのに売却の時に無くなっていること、市道2069号の説明責任、市民からの苦情対応と人事評価制度）
○社会資本の老朽化について（本市の社会資本老朽化に対するチェック体制と対策、公共施設マネジメント白書を策定する考え）
○まちづくりと財政問題等について（都市整備公社への補助金支出と中央北地区の財政計画、減歩率の変化、従前・従後の土地利用の変化、川西市出資ビル管理会社と中央北地区PFI方式導入検討との考え方の変化）
○中央北地区の開発に伴う市道10号（豊川橋山手線）東側の整備方針と財源確保について
○中央北地区の開発がもたらす将来の財政収入への影響について（市民税の動向、中央北地区

の開発がもたらす将来の財政収入の影響）
○国土交通省から大阪国際空港周辺都市対策協議会（11市協）に打診があった「今後の大阪国際空港の運用について」の答申の内容について
○国土交通省から告示のあった関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する基本方針について
○移転補償跡地のまちづくりに関する新関西国際空港株式会社との交渉及び川西市の考え方について
○健全な子育てに向けた教育委員会の取り組み状況について（子どもに関連した事件の把握と対応）
○本市の小・中学校校区のあり方について（校区審議会の開催状況、教育委員会における校区に対する理念）
○通学路安全対策の総合的な取り組みについて（今回の取り組みの進捗状況、人間優先の交通体系という理念、今後のための文書化）
○PFI方式のその後の検討について（特に、学校耐震化・大規模改造についてのPFIの取り組み状況）

一般質問 発言議員

（発言順）

森本 猛史
福西 勝
江見 輝男
住田由之輔
宮坂満貴子
宮路 尊士
安田 忠司
大崎 淳正
黒田 美智
津田加代子
鈴木 光義
北野 紀子
岡 留美
大矢根秀明
小山 敏明

常任委員会報告

今期定例会において、請願等を除き常任委員会で審査された議案は、総務生活委員会2件、厚生委員会1件、建設文教公企委員会2件、三つの委員会に分割付託された補正予算案1件の計6件です。
ここでは、各委員会での審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

つながりノート アンケート経費の予算化で論議 民間保育所の改修補助金も 厚生常任委員会

■平成24年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

問 今回、国庫補助金を受け、認知症高齢者を効果的に支援するため、家族や医療機関、介護事業者などが情報共有を図る「つながりノート」の導入に向けた、アンケート調査の実施経費が追加されようとしているが、調査方法などについて伺いたい。

答 この調査は、要介護度が要支援2以上である高齢者3500人の家族を対象に、ケアマネージャーを通じて実施する考えであり、つながりノートは、本市以外でも導入実績がないことから、調査結果を集計し、その効果を検証しようとするものである。

◇ ◇ ◇
反対意見 市は、事務作業のみを行い、地域の実態把握など、保険者としての責務を怠っているため、本案には賛成できない。

賛成意見 つながりノートは、介護保険と医療との連携策として期待できることから、本案に賛成する。

■平成24年度川西市一般会計補正予算（第2回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、県の安心子ども基金を活用し、民間保育所1園の改修費用を補助しようとしているが、これにより、定員増が図られる14人のうち、保育需要が高い3歳未満児の定員は、5人しか増加しないため、事業の妥当性などについて伺いたい。

答 この民間保育所がある東谷地区では、9月現在の待機児童数が16人となっており、この事業は、待機児童解消の効果があると考ええる。
なお、3歳未満児の定員だけを増加すると、進級時に支障があるため、平準化した定員を設定している。

また、各保育所では、定員を超えて児童を受け入れるなどの努力をしており、保育需要の動向により、さらなる対策を検討していきたい。

◇ ◇ ◇
反対意見 介護保険事業特別会計への繰出金については、経緯が不明瞭なため、本案には賛成できない。

川西能勢口駅前の市有地交換を可決 東谷小 火災 給食室改修費用の補正も 建設文教公企常任委員会

■財産の交換について

本案は、中央町及び小戸1丁目地内において、小規模で不整形に点在している市有地を集約し、有効活用を図るため、阪急電鉄株式会社を相手方に市の財産である土地を交換しようとするものである。

問 今回の土地の交換については、本市にもメリットがあることを理解するが、集約された市有地を市民のために有効利用するべきと考

えることから、この土地の具体的な今後の活用策について、市の考えを伺いたい。

答 今回、財産を交換することにより、集約される市有地は、川西能勢口駅前に残るまちづくりに生かせる土地であることから、この地域の活性化に利用したいと考えている。

また、中央北地区整備事業の動向も見据えながら、この土地が中央北地区との一体感を増すような形で利用できるよう、具体的な計画を検討していきたいと考えている。

■平成24年度川西市一般会計補正予算（第2回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、6月29日に発生した市立東谷小学校の給食室の火災に伴い、施設の早期復旧のために流用し

急速充電設備の設置基準を規定 災害対応特殊救急自動車の更新を審議 総務生活常任委員会

■川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、省令の一部改正に伴い、電気自動車用の急速充電設備の設置に対し、火災予防上必要な安全対策を確保するため、その設備の位置のほか、構造や管理などの基準を定めようとするものである。

問 今回の改正案では、20キロワット以下と50キロワット超の急速充電設備については除外されているため、さらに短時間で充電が完了するような、50キロワット超の設備が設置される場合の対応を伺いたい。

答 今回の改正は、急速充電設備設置に関する火災予防上の基準が、総務省令により新たに示されたため、全国一律の基準として、条例により規定しようとするものである。

この規定を超える設備が設置される際は、別途条例で定めている特例を適用し、消防庁と協議した上で対応することとなる。

■災害対応特殊救急自動車の買入れについて

本案は、北消防署に配備されている災害対応特殊救急自動車が、購入後8年を経過し、更新時期が到来したため、国庫補助を受け、買い換えようとするものである。

問 購入しようとする救急自動車は、他に本市が所有する4台の高規格救急自動車と比較し、搭載する資機材に違いがあるのか、また、その資機材の選定方法を伺いたい。



答 高規格救急自動車に搭載すべき資機材は、患者監視装置や自動体外式除細動器などの8点が省令で定められている。

また、これらの資機材は、普段使用する救急隊員の意見を尊重しながら、同じメーカーの新製品を導入するようにしている。

■平成24年度川西市一般会計補正予算（第2回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、図書整備支援事業交付金として、公益財団法人兵庫県市町村振興協会からの交付金が追加されようとしているが、この財源など、詳細について伺いたい。

答 この交付金は、サマージャンボとオータムジャンボといった宝くじの収益金を原資に、同協会から県下の全市町に交付されるものである。

今回は、図書整備支援事業として、総額8000万円を均等割と人口割で算出され、本市には276万7000円が交付されるものである。

■平成24年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）

問 今回の補正は、土地区画整理事業に伴う換地（区画整理で割り当てられる土地）を行うための支障物件の調査委託において、件数が増加したことによるものであるが、今後も増加する見込みがあるのか、見通しを伺いたい。

答 支障物件は、換地設計や現地測量の実施により、明確になったことから、件数が増加したものである。

今後、具体的な現場の工事に入る際に、新たに補償が必要となる物件が明らかになる可能性はあるが、現状がすべてであると考えている。



審議案件

■全員賛成■

＜条例の一部改正＞

○川西市火災予防条例（総務生活）

＜補正予算＞

○平成24年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計第1回補正（建設文教公企）

＜決 算＞

○平成23年度川西市水道事業会計利益の処分及び決算認定（公企会計決算特別委）

○平成23年度川西市下水道事業会計利益の処分及び決算認定（同）

＜その他＞

○教育委員会委員の選任

○人権擁護委員候補者の推薦＝4件

○専決報告 損害賠償請求事件の和解

○財産の交換（建設文教公企）

○災害対応特殊救急自動車の買入れ（総務生活）

■賛成多数■

＜補正予算＞

○平成24年度川西市一般会計第2回補正（各委分割付託）

○平成24年度川西市介護保険事業特別会計第1回補正（厚生）

＜決 算＞

○平成23年度川西市病院事業会計決算認定（公企会計決算特別委）

■継続審査■

＜決 算＞

○平成23年度川西市一般会計決算認定（一般会計決算特別委）

○平成23年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定（特別会計決算特別委）

○平成23年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定（同）

○平成23年度川西市農業共済事業特別会計決算認定（同）

○平成23年度川西市介護保険事業特別会計決算認定（同）

○平成23年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定（同）

○平成23年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定（同）

―――【請 願】―――

■採 択■

○「Ⅰ型糖尿病（インスリン依存型糖尿病）」を身体障害者福祉法施行令の対象者（内部機能障害）に認定するための請願書（厚生）

○「こころの健康基本法（仮称）」の早期制定を求める意見書提出の請願書

【注】（ ）は付託された委員会です。

傍聴にお越しください

川西市議会では、本会議や委員会など、すべての会議を公開し、皆さんに傍聴していただいています。

また、議員と同じ資料を閲覧用に提供するほか、ご希望に応じて手話通訳者を配置していますので、ぜひ傍聴にお越しください。

なお、これらの会議録は、市議会事務局や中央図書館などのほか、下記の市議会ホームページでもご覧いただけますので、ご利用ください。

次の定例会は、11月下旬から開かれる予定です。会議の開催日程などは、市議会事務局(TEL:740-1255)にお問い合わせいただくか、市議会ホームページ(<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>)をご覧ください。